

年

組 名前

教材1-N-(1) 正負の数の分数の加法・減法⑭ 『 $\frac{3}{4} + (-\frac{5}{6})$ 』 の解決のために

$$\begin{aligned} \frac{3}{4} + (-\frac{5}{6}) &= \\ &= \\ &= -\frac{1}{12} \end{aligned}$$

異分母分数の加法・減法は、まず、
を通分して、分母をそろえます。
その後、分子を計算します。分子の計算
の考え方は、整数の加法・減法と同じです。

たしかめよう

次の計算をなさい。

① $\frac{1}{4} + (-\frac{6}{7}) =$

② $(-\frac{1}{9}) - (+\frac{1}{3}) =$

③ $(+1) - (+\frac{2}{3}) =$

④ $(-\frac{5}{6}) - (-\frac{3}{8}) =$

教材1-N -(2) 正負の数の分数の加法

③ 『 $-\frac{5}{8} + \frac{1}{2}$ 』の解決のために

$-\frac{5}{8} + \frac{1}{2}$ $= -\square + \square$ $=$ $=$	<p>○異符号の加法の計算では 絶対値の大きい方から 方をひき、 絶対値の 方の 符号をつける。</p> <p>○分数の場合は、先に通分して どちらの方が絶対値が大きい か確かめるとよい。</p>
---	---

たしかめよう

次の計算をなさい。

① $-\frac{5}{2} + \frac{4}{3} =$

=

=

② $-\frac{8}{3} - \frac{3}{4} =$

=

=

教材1-N -(3) 正負の数の分数の加法・減法

③ 『 $-\frac{1}{2} - \frac{4}{5}$ 』の解決のために

$-\frac{1}{2} - \frac{4}{5} = -\frac{\quad}{10} - \frac{\quad}{10}$	←異分母分数の加法・減法はまず通分します
$= \frac{\quad}{\quad}$	←分子を計算します。

たしかめよう

問 次の計算をなさい。

① $-\frac{3}{2} - \frac{1}{4} =$

② $-\frac{2}{5} + \frac{2}{3} =$

③ $(-\frac{5}{6}) + (-\frac{1}{4})$
 $=$

④ $(-\frac{3}{4}) - (-\frac{2}{3})$
 $=$